

2009年3月4日
日立アプライアンス株式会社

業界最大内容積^{(*)1}615Lのゆとりある庫内スペースを実現
3ドアタイプ大容量冷蔵庫「Side-By-Side」を発売
冷凍室と冷蔵室を左右横並びに配置した、使い勝手の良いレイアウトを採用

日立アプライアンス株式会社(取締役社長:石津尚澄)は、業界最大内容積615Lの大容量を実現するとともに冷蔵庫の左側に冷凍室、右側に冷蔵室と野菜室を配置した3ドアタイプ大容量冷蔵庫「Side-By-Side(サイド・バイ・サイド)」R-SBS6200を4月13日から発売します。

本製品では、本体幅を910mmとすることで、内容積615Lの大容量を実現し、食品のまとめ買いや食材宅配システムの利用にもゆとりを持って対応できます。また、冷凍室、冷蔵室、野菜室をすべて開き扉式とした3ドアタイプとすることで、庫内が見渡しやすく、食品も取り出しやすい、新しいスタイルの最高級冷蔵庫です。さらに、ドアを開けることなく、ワンタッチでキューブ氷(角氷)やクラッシュ氷(砕いた氷)を取り出せ、冷水も出せるディスペンサーの搭載により、様々な調理や生活シーンで使用できます。

■型式および発売日

型式	総庫内容積	本体希望小売価格	発売予定	年間生産台数
R-SBS6200	615L	オープン価格	4月13日	6,000台

■新製品の主な特長 <3ドアタイプ大容量冷蔵庫「Side-By-Side」R-SBS6200>

1. ゆとりの業界最大内容積615Lを実現

本体幅を910mmとし、業界最大内容積615Lを実現しました。冷凍室の内容積は業界最大の223L、野菜室も業界最大の166Lとしました。これにより、まとめ買いや、食材宅配システムを利用した大量の食品だけでなく、鍋や大皿などもゆとりを持って収納できます。また、料理が入った鍋などの重さに耐える強度を持ち、清掃性も高い強化ガラス棚を冷凍室と冷蔵室に、食品を整理しやすい3段収納ケースを冷凍室と野菜室に採用しました。

2. 使い勝手の良い、新しい「サイド・バイ・サイド」スタイルを採用

冷蔵庫の左側に冷凍室、右側上段に冷蔵室、下段に野菜室を配置した当社独自の「サイド・バイ・サイド」スタイルを開発しました。本製品では、各室が縦に長いため、ドアを開けると広い庫内を上下に見渡せます。また、よく使う食品を冷蔵庫の出し入れがしやすい高さの棚やケースに収納でき、利用頻度の低い食品やストック用食品は、冷蔵庫の上部や下部に分けて収納できます。

3. 世界初^{(*)1}、ドアを開けずにワンタッチで氷や冷水が出せる、タンク方式^{(*)2}のディスペンサーを搭載

本製品では、ドアを開けずにワンタッチでキューブ氷やクラッシュ氷、冷水が出せる「アイス&ウォーターディスペンサー」を冷凍室前面に搭載しているため、様々な調理や生活シーンでの今までにない使い方が可能となりました。製氷や冷水の給水には、大容量タンクの水を利用する方式を世界で初めて採用しました。これにより、ミネラルウォーターの使用も可能とし、安全で美味しい氷や冷水を供給できます。また、タンクは着脱可能で、清掃性も高めました。

(*1) 2009年3月4日現在。家庭用ノンフロン冷蔵庫において。

(*2) 海外で販売されている冷蔵庫に搭載しているアイスディスペンサーでは、一般的に水道工事が必要な水道直結方式が採用されています。

■需要動向と開発の背景

2008年度の家庭用冷蔵庫の需要は、約430万台、前年比100%と予測されます。このうち、500Lクラスの需要は、前年比約130%と引き続き高い伸びが予想されます。(日立調べ)

これは、住宅の高気密化によるキッチンの室温上昇などに伴い、冷凍・冷蔵保存が必要な食品が増加しているのに加え、まとめ買いや食材宅配システムの普及といった生活スタイルの変化による食品量増加も背景として考えられます。さらに、食に対する安全意識の高まりから、家庭で調理し、食事をする内食化傾向にあり、食生活そのものにも変化が見られます。

本製品は、海外では多く見られるサイド・バイ・サイド形態(一般的に冷凍室と野菜室を含んだ冷蔵室を横に並べた2ドアタイプ)を現在の日本の食文化に合わせ、今までになかった新しいスタイルの3ドアタイプとして開発しました。

今回、ゆとりある収納を可能とする業界最大内容積を実現するとともに、使い勝手の良いレイアウトの採用や、ドアを開けずにワンタッチでキューブ氷やクラッシュ氷を出せる「アイス&ウォーターディスペンサー」の搭載により、様々な調理や生活シーンで使用できます。

このように、新しい生活を提案する、新しい使い勝手の冷蔵庫として発売します。

■添付資料

3ドアタイプ大容量冷蔵庫「^{サイド バイ サイド}Side-By-Side」R-SBS6200の詳細説明

■お客様からの問い合わせ先

お客様相談センター 電話 0120-3121-11

■冷蔵庫ホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/rei/>

以上

(添付資料)

■3ドアタイプ大容量冷蔵庫「Side-By-Side」R-SBS6200の詳細説明

1. ゆとりの業界最大内容積^{(*)1}615Lを実現

本体幅を910mmとし、間仕切りの少ない3ドア構成により、業界最大内容積615Lとゆとりのある大容量を実現しました。特に大容量化が求められる冷凍室では、内容積を業界最大の223Lとし、10年前の500Lクラスの機種^{(*)2}と比べて約2倍^{(*)3}としました。野菜室についても、業界最大内容積166Lと約1.6倍^{(*)4}にしました。(図1)(図2)

今回、広い庫内の収納性をさらに高めるため、冷凍室と冷蔵室の棚に強化ガラスを採用しました。プラスチック製に比べて強度や表面硬度が高い強化ガラス製の棚は、料理の入った鍋ごと収納できるとともに、傷つきやへこみを防ぎ、清掃性にも優れます。また、食品を整理しやすいよう引き出し式の「3段ケース」を冷凍室と野菜室に装備しました。さらに、ペットボトルや一升瓶(1.8L)^{(*)5}も収納可能な「ボトルポケット」を冷蔵室と野菜室に採用しました。(図3)

これらにより、一週間や半月単位でのまとめ買いや、まとめて食材が届く宅配システムの利用にも対応します。さらに、冷蔵室だけでなく、冷凍室にも鍋や大皿、ケーキなどをそのまま収納可能なため、ホームパーティなどの準備にも便利です。



[図1 大容量冷蔵庫]



[図2 10年前機種との内容積比較]



[図3 庫内収納部]

(*)1) 2009年3月4日現在。家庭用ノンフロン冷蔵庫において。

(*)2) 当社10年前冷蔵庫R-S50PAMと比較。

(*)3) 当社10年前冷蔵庫R-S50PAM 冷凍室内容積120LとR-SBS6200 冷凍室内容積223Lと比較。

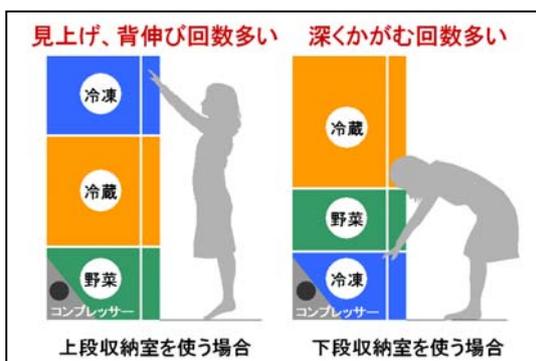
(*)4) 当社10年前冷蔵庫R-S50PAM 野菜室内容積104LとR-SBS6200 野菜室内容積166Lと比較。

(*)5) 一升瓶(1.8L)は、冷蔵室の「ボトルポケット」のみ収納可能。

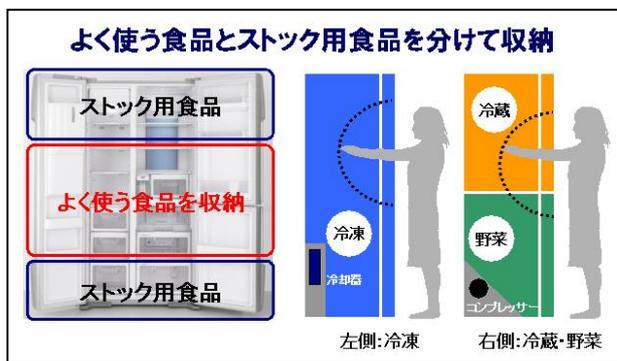
2. 使い勝手の良い、新しい「サイド・バイ・サイド」スタイルを採用

従来のサイド・バイ・サイド形態の冷蔵庫は、冷凍室と冷蔵室の2ドアタイプが主流でしたが、今回、冷蔵庫の左側に冷凍室、右側上段に冷蔵室、下段に野菜室を配置した当社独自の「サイド・バイ・サイド」ス

タイルを開発しました。従来の冷蔵庫は、冷凍室、冷蔵室、野菜室を上から順にレイアウトしていたものが多く、食品を取り出す際、背伸びをしなければ届かなかつたり、深くかがむ必要がありました。(図 4) 本製品では、冷凍室と冷蔵室、野菜室を左右横並びでレイアウトすることで、各部屋が縦に長くなりました。これにより、庫内が上下に見渡せ、よく使う食品を冷蔵庫の出し入れしやすい高さの棚やケースに、また、利用頻度の低い食品やストック用食品は、冷蔵庫の上部や下部に分けて収納できます。なお、それぞれの部屋に設けた専用の庫内灯の効果により、収納物の場所も一目でわかります。(図 5)



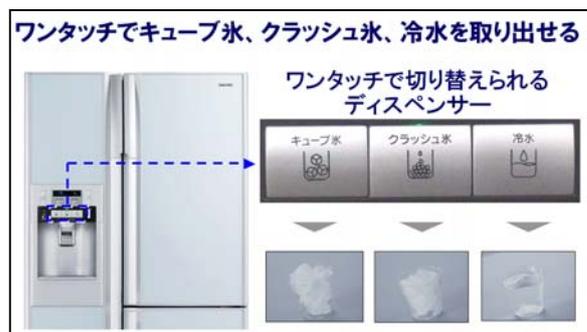
[図 4 従来スタイル]



[図 5 「サイド・バイ・サイド」スタイル]

3. 世界初^{(*)1}、ドアを開けずにワンタッチで氷や冷水が出せる、タンク方式^{(*)6}のディスペンサーを搭載

ドアを開けずにワンタッチでキューブ氷やクラッシュ氷、冷水を取り出せる「アイス&ウォーターディスペンサー」を冷凍室ドア前面に搭載しました。(図 6) 製氷や冷水の給水には、大容量 4L の着脱式給水タンクの水を利用する方式を世界で初めて採用しました。これにより、ミネラルウォーターの使用を可能とし、安全で美味しい氷や冷水を供給できます。また、タンクを取り外して給水や洗浄ができますが、取りつけたまま水を補給することもできます。この水を冷凍室上部で自動製氷し、ディスペンサーに移動させるとともに、別経路で冷水をディスペンサーに送ります。(図 7)

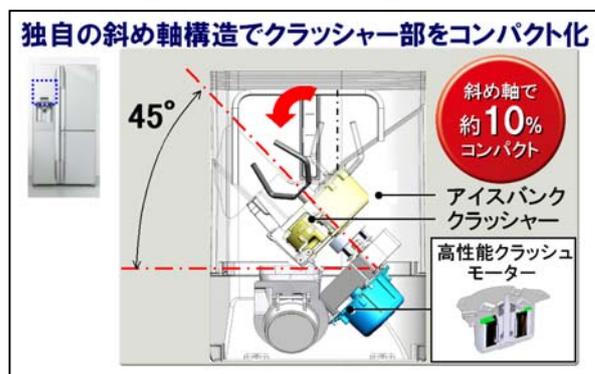


[図 6 アイス&ウォーターディスペンサー]

クラッシュ氷を作るためのアイスクラッシャー部は、モーター回転軸を斜めになるよう配置するなど独自の構造を開発し、機構部の高さを低くしたことで、コンパクトなディスペンサーを実現しました。(図 8) これにより、いつでも簡単にワンタッチで氷が取り出せ、ホームパーティなどでの使用や、刺身やフルーツの



[図 7 大容量給水タンク]



[図 8 ディスペンサー技術]

下に敷くなど、ゆとりのある食生活を演出することができます。また、冷水をワンタッチで出せるため、夏の帰宅時や風呂上り時に便利です。

(*6) 海外で販売されている冷蔵庫に搭載しているアイスディスペンサーでは、一般的に水道工事が必要な水道直結方式が採用されています。

4. 強化処理ガラスをドア表面に採用した「クリスタルドア」による高品質なデザイン

当社の「栄養いきいき 真空チルド V」シリーズで採用している、強化処理ガラスを使った「クリスタルドア」を本製品にも採用しました。インテリア性が高く、上質なキッチン空間に調和し、長年使用しても、平滑なガラス特有の質感を保ちます。また、握りやすい大形のグリップハンドル、見やすい表示や大きなボタンを備えたコントロールパネルなど使いやすさと美しさの両立を図り、高級感のある洗練されたデザインに仕上げました。(図 11)



【図 11 「サイド・バイ・サイド」デザイン】

5. おいしさと栄養素をしっかり守る「デリシャス急冷凍」機能を搭載

冷凍室上段奥から吹き出す冷気とアルミトレイとで食品を素早く凍らせ、うま味や栄養素を閉じ込める「デリシャス急冷凍」機能を搭載しました。高速で冷気が循環する構造の採用や、コンプレッサーとファンモーターの回転数と回転時間を最適に制御することで、熱いご飯を冷まらずに冷凍保存できます。食品の細胞を壊さないため、おいしさや食感、ポリフェノールなどの栄養素を保つことができます。

6. 鮮度を保つ「うるおいチルドルーム」や「ナノテクミスト野菜室」を採用

ラップなしでも湿度を保つ「うるおいチルドルーム」を冷蔵室下部に設置しました。冷蔵室より温度が低めで肉や乳製品の保存に適しています。また、野菜室の各ケースに安定した湿度を保つ「モイスチャーカセット」を搭載しました。ドア開閉時に、冷蔵庫外の空気から水分を吸収し、野菜の収納が少ない時など湿度の低下に合わせて、吸収した水分をナノサイズのミストとして室内に放出します。これにより、野菜室内を常に約90%の高い湿度に安定して保ち、鮮度をしっかり守ります。

7. 環境への配慮

本製品では、高い断熱性能を持つ独自の「フレックス真空断熱材」やコンパクトで高効率のコンプレッサーを採用し、省エネ化を図りました。また、発泡剤にはシクロペンタンを、冷媒には R600a(イソブタン)を採用した、地球温暖化への影響が極めて小さいノンフロン冷蔵庫です。さらに、使用する原材料が環境へ及ぼす影響を低減するため、電子制御基板への無鉛はんだの採用や、六価クロムを含まない電気めっき鋼板やねじの使用で EU の RoHS^(*7) 指令への対応を図り、さらに、J-Moss^(*8) に対応して「J-Moss グリーンマーク」を表示しています。

- (*7) Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment の略。欧州連合(EU)域内で取り扱う電気・電子機器製品を対象に実施する有害物質規制のこと。2006年7月1日以降、鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル)の6物質の使用が制限されています。
- (*8) 日本工業規格(JIS C 0950:2008)「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」。

■新製品の主な仕様

3ドアタイプ大容量冷蔵庫「 <small>サイド バイ サイド</small> Side-By-Side」		R-SBS6200
型式		R-SBS6200
定格 内容積 (L)	合計	615
	冷凍室	223
	冷蔵室 (うち うるおいチルドルーム)	226 (16)
	野菜室	166
外形寸法(幅×高さ×奥行)		910×1760×720(mm)
質量		122Kg
年間消費電力量		600kWh/年
本体色		クリスタルシルバー(XS)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
